



「独りではない」

宮澤 章二

ひとりっきりで耐えねばならぬ季節には
ひとりっきりで耐える強さを持とう……
草の芽たちは みんなそうして育った
けれど 育ってみると独りではなかった
まわり中に 同じ強さを持つ仲間があふれ
ありあまる若さで光合っているのだ

ひとりっきりで咲かねばならぬ季節には
ひとりっきりで咲く勇気を持とう……

花のつぼみたちは みんなそうして開いた
けれど 開いてみると独りではなかった
まわり中に 同じ勇気を持つ仲間があふれ
香り合う美しさで共に輝いているのだ

勇気に満ちた強い心 それが命を磨く
磨かれた命は仲間を呼び 仲間に出会い
はればれと生き抜く宇宙を そこにつくる

「耐える強さを持って、それぞれの花を咲かそう」

校長 筒井 啓介

私たちの周りには「皆で耐えなければならないこと」や「ひとりだけでやり抜かなければならぬこと」があります。それは自分の責任で頑張るしかないのですが、この詩は自分だけじゃないよ、と言ってくれているのです。

耐えてきた人ほど、また何かをやり切った成果を持った人ほど、同じ苦労をした人の気持ちや痛みが分かるのではないでしょうか。また、同じように越えたものを持っている人に出会うと、妙に嬉しいものです。

辛いのは「自分だけじゃなかった」、大変なのは「自分だけじゃなかった」、頑張っているのは「自分だけじゃなかった」、そう思うだけで、何だか元気が出ますね。

3年生は今、受験真っただ中です。それぞれが目標とする進路の実現に向けて、こつこつと努力を積み上げながら「ひとりっきりで耐える季節」です。最後まで全力で取り組み、それぞれの「花」を咲かせて欲しいと願っています。

■仲間と共に学ぶ楽しさ～美術（3年生）～



3年生が美術の授業で「季節を感じる和菓子のデザイン」に取り組んでいます。粘土で形をつくり、絵具で色付けをして仕上げます。ブラシやヘラなどを使って細かな作業に取り組む生徒もいます。個性豊かな作品が仕上がるこことを楽しみにしています。（1月20日）

■仲間と共に学ぶ楽しさ～保健体育（3年生）～



練習の成果を発揮します

1月から取り組んできた柔道の授業ですが、習得した技を活かしながらペアになって勝負が行われていました。足払いや寝技など練習の成果が感じられました。また、技を身に付けるだけではなく、礼節や相手を思いやる心も重んじながら授業が進んでいました。今回の授業で柔道の学習は最後になるそうですが、高校の授業などで柔道に触れる機会もあると思います。ぜひ、その時にはこれまでの学びを活かせることを期待しています。（2月5日）

「一年の締めくくりに思うこと」

校長 筒井 啓介

学校生活の一年間を締めくくる3学期ですが、2月に入ると、次の学年に向けての準備が大切になってきます。

『植物はすごい』という本の中には、「植物たちは、種ができると、強い子どもが育つように、子どもたちを新天地へ放り出します。どんな環境に出会っても、強く生きていってほしい」という思いが込められているのです。新天地へ放り出される子どもたちも、その期待を担って親元を離れています。植物たちの“親離れ”“子離れ”的なよさはすごいのです」と書かれています。

3年間の中学校生活で、皆さん大きく成長しました。身体の成長は見ればすぐに分かりますが、心の成長はどうでしょうか。心の成長は、様々な行動に表れます。友人関係はどのように変化したでしょうか。学習に取り組む姿勢や、趣味・こだわり、将来の夢、親への態度や言葉遣いなど、日々の何気ない変化に目を向けることが、次のステップへの備えになります。学校でも、皆さんの成長に目を向けながら、次の学年への準備を進めていきたいと考えています。

話は変わりますが、皆さん「一期一会（いちごいちはい）」という諺を知っていますか。これは、茶道で使われる言葉で、「一生に一度の出会い」を意味します。今この瞬間の出会いは二度と巡り会えないものだと考え、一つ一つの出会いを大切にすべきだという戒めの言葉です。

さんは、人が一生で出会う人の数はどれくらいだと思いますか。人生80年とすると、何らかの接点を持つ人が約30,000人、同じ学校や職場、近所の人が約3,000人、親しく会話をする人が約300人、友人と呼べる人が約30人、親友と呼べる人が約3人だそうです。確率に直すと、友人と呼べる人と出会う確率は2億4,000万分の1、親友と呼べる人と出会う確率は24億分の1になります。人の出会いが天文学的な奇跡であることが、この数字からも分かります。私たちは奇跡のように多くの人と巡り合っています。一つ一つの出会いを大切にし、感謝の気持ちを持つことが大切ではないでしょうか。

3年生は卒業まで残り1月ほどとなりました。4月からはそれぞれの進学先に進むこととなります。西谷中で共に学んだ仲間たち、先生方との出会いもまさに「一期一会」です。出会いに感謝し、繋がりを大切にして欲しいなと思います。